

見学院 大西歯科 (神戸市)

見学日時 2月19日(土)
午後2:30~5:00

見学のポイント

- ① 衛生士のアポイント時間は1時間
- ② 事前準備が半端じゃない!
- ③ 診療室の整理整頓
- ④ お話はチェアを離れて

① 衛生士のアポイント時間は1時間

院長の藤本省三先生は「衛生士は経験を積みば積むほどに見る目が養われる、ちょっとした変化に気づくことができるからどうしても時間がかってしまう。30分のアポイントだと、やりたいことができなくなるから1時間にしている」

とのこと。納得。歯科衛生士はアポイント時間を自由に使い、時間が余れば業務記録を座って丁寧に書くことができる。診療直後に業務記録を書くことで、情報を漏れなく記載することができ次回に活かされる。

歯科衛生士が余裕をもって仕事ができるよう、陰で院長は頑張っているようです(笑)

② 事前準備が半端じゃない!

アポイントの患者さんの準備の徹底ぶり
が素晴らしい!

朝のうちに午前の患者さんの準備をすべ



トレーには基本セット以外にプローブ(しかも普通のプローブとファーケーションの2本)、PMTC用チップ2~3種類、必要量切ったフロス、超音波スケーラーチップとチップ交換時の部品、チャート記入用滅菌済み鉛筆までが用意されている!



素晴らしいのは、デンタルX線を撮影することが分かっている患者さんの撮影部位に応じたインジケーターにフィルムが挟み込まれた状態で準備されていること

突撃!!ヘルスケア診療室!

「患者さんと長くつきあえる環境づくりと医院の団結力が魅力!」

てしておく。ここまで徹底して準備してあると、患者さんをお通した後に術者がチェアサイドを離れることがない。

事前準備の素晴らしさは歯科衛生士だけではなく、歯科医師の診療準備も同じ。

③ 診療室の整理整頓

診療室はとても整理整頓が行き届いており、圧巻なのは消毒室。

歯科助手さんが清掃を担当している消毒室は使われていないのではないかとというくらい清潔さ。

ここまで綺麗な消毒室は見たことがない。診療室と消毒室の間にあるパーテーションは、なるほどの使い勝手。

パーテーション下にはキャスター付きのワゴンがあり、診療室側と消毒室側に通じている。そこには大きなカゴがついている。

カゴの中は仕切られており、トレーやカップは積み重ねられ、器具も仕分けてカゴに入れる→器具を入れたら足でワゴンを元の位置に戻す→消毒室側からもワゴンが足で引き出せて、器具を効率よく洗浄することができる。極力患者さんの



目に触れない。そして器具を持ち歩く距離を短くする。

その工夫がいっぱい詰まったかたちで感動!

④ お話はチェアを離れて

患者さんとのお話は、チェアサイドですること多いが、椅子が隣同士のちょっとしたスペースで、チェアを離れることで患者さんが話しやすい環境を作るよう配慮されている。

しかも、チェアを離れることで次の患者さんの準備ができるという利点も。さすが。急がない、焦らないために徹底した準備。長く患者さんと関わるために採得してきた膨大な資料。完成されたシステムのもと、安心して患者さんに向かってスタッフの皆さん。圧巻!でした。

お忙しいなか、見学をご快諾頂いた藤木先生そしてスタッフのみなさん、ありがとうございました。

落合真理子(ひかり歯科)



DHstyle (3月1日発行)

B5判 105ページ 1,260円

特集「すぐに役立つ院内感染対策のレベルアップポイント」

この特集を読んで、日本は残念ながら外国に比べ院内感染に対する意識がまだ低いように感じました。この特集では14のポイントにわけて院内感染についてデータをもとにとり詳しく記載されていました。

皆さんも日々の診療に追われ、あれ？

歯科衛生士 (3月10日発行)

A4判変型 86ページ 1,470円

特集「チームで考える対応が困難な患者さんへのアプローチ」

今月3月号のラインナップは、私の疑問を見事に払拭させていただけるものでした。歯肉を読む目を養うことは、そのまま自分の力へと変えられます。

患者様の歯肉から、SOSを出して訴えてくる歯肉。そのSOSの原因を私たち歯科衛生士があらゆる経験と知識をもって患者さんと二人三脚を始めるのですが、正直短期間で改善されることが少なく、長い目をもって、患者さんのモチベーションを保ちながら行っています。



クインテッセンス出版刊

なんですぐに良くなるんだろ？ 焦る気持ちが先走って、その焦りが患者さんにも伝わり、ぎくしゃくすることも少なくありませんでした

これっていいのかな？ と思うこともあるかと思いますが。

14のポイントのなかで私が気になったのは手指の手洗いや注意点です。私たちは無意識に不潔域に触れています。データを見ると手洗いの後、白衣や髪に触るスタッフが多く認められたとのこと。患者さんから別の患者さんに移動するとき手洗いでなく、手洗い後の手指の清潔を保つよ

うに十分認識を持って行動することが大切だと改めて思いました。

今回、今一度、院長、スタッフみんなで消毒・滅菌・院内感染対策を見直すきっかけにしてください。

(川田真梨央)



デンタルダイヤモンド社刊

(こうじ歯科クリニック)

あの本 この本 読みくらべ隊



が、経過を追うということ、長い目で歯肉を育てていくということ。数年がかりで歯肉を改善していく大切さを学ばせていただきました。

こういう症例は日々の臨床で多くの歯科衛生士が突き当たる症例だと思います。SOSに対する適切な処置とアプローチ。それが報われる日を楽しみに待てそうです。素敵なお話、ありがとうございました。来月も楽しみにしています。(織田朝子)

デンタルハイジーン (3月20日発行)

B5判 96ページ 1,365円

特集「緊急時の対応、準備はできていますか？」

歯科診療時に起こった全身の偶発症の種類や発症時期について書かれています。

また、全身の偶発症が起きた場合の対処

法や予防法がQ&Aに載っており、写真も多くあるのでとてもわかりやすいです。歯科衛生士だけでなく、医院のスタッフ全員で読んでおく予防の効果も上がり、いざという



医歯薬出版刊

き、よりスムーズに対処できて良いと思います。

そして「目で見てわかる！ インスツルメンテーションのコツとツボ」今回は歯科衛生士が毎日使用している超音波スケーラーについてです。この記事を読み、私は、毎日当たり前のように使用しているうちに、いつの間にかクセがついてしまっていたことに気づきました。

今回この記事を読み、基本を見直すことができ、またコツもわかったので、とても勉強になりました。(平島 睦)

ちゃんと撮れてる？ 口腔内規格写真撮影



Lesson8

『使ってこそその写真です』

「写真を撮りはするものの、溜め込むばかりで使っていない」という話をたまに聞きます。なんてもったいない！ 精密検査の表よりもエックス線写真よりも、写真は一番インパクトが強い説明ツールです。数字や歯の影といった馴染みのない物で説明をされるより、歯は見たことがありますから患者さんは理解しやすいわけです。一度見せてあげてください。インパクトの大きさに驚くはず。

写真整理用のソフトもいろいろ出ていま

す。日本ヘルスケア歯科学会から出されているソフトも簡単に写真の入力ができますし、しかもお財布にも優しい。高いソフトはそれなりにより物がたくさんありますが、敷居が高くて導入をためらい、ただただフォルダに保存し続けるくらいなら、手の届きやすいソフトを使い始めるとよいでしょう。写真の保存はもちろん、わかりやすく並べたり拡大することも簡単です。

写真は拡大してお見せすると、更に患者さんの理解を引き出すことができます。白

歯の歯頸部を拡大し「ここにある白っぽいのがプラークといって細菌の塊です」と教えてあげると、どこに歯ブラシをあてたらよいのかをビジュアルに伝えることができます。正直言うと、ほとんど見えない赤ちゃんミラーと手鏡で示すより、写真で見せてあげた方が伝わりやすいです。ショップのポイントじゃあるまいし、写真はためておいてもいいことはなんにもありません。使ってこそその写真です。

(KAZU・フリー)

私が歯科衛生士になったのは、昔から虫歯が多かったことがきっかけでした。自分の欠点を仕事にしたい!! それは誰よりも困っている人に寄り添えると思ったからです。

専門学校を卒業し、まさき歯科に入社して6年が経ちました。「自分が学んできたことをたくさんのお客さんに伝えたい」。そんな思いでした。

しかし、臨床では、お客さんは思ったようには動いてくれませんでした。そんな私に、歯科衛生士の楽しさを教えてくれたのは、日本ヘルスケア歯科学会です。

ヘルスケアの勉強会に出て、たくさんのキラキラ輝いて仕事に取り組んでいる先輩たちに出会いました。誰もが、お客さんの人生に寄り添い、健康で充実した人生、そのお客さんの幸せは何かを日々考えて取り組んでいるのです。

プローピングで感じたこと

☆ お初!

相互実習前に模型にてプローブの挿入角度とウォーキングストロークの練習。これは基礎コース初の試み。

直接口腔内に触れないので、「痛みを与えるかも…」という不安なく、練習に集中できたようで、その後の実習にも反映されていたように思います。

☆ やすちゃん、講師デビュー!

基礎コースの講師は、ヘルスケアの衛生士たちです。

普段は診療所に勤務する歯科衛生士が診療時間外、自分の時間を使って、受講生のために講義を考え、自分でスライドを作り、当日に臨みます。

今回は、まさき歯科のやすちゃんがデビュー!!!

緊張しながらも、立派に講師を務めている姿に先輩講師からあたたかい言葉がかけられていました。

講師を務めることで、講師自身も多くの学びがあるのです。

そんな先輩たちに出会えたことで、患者さんとのつきあい方が変わりました。

「今この人にとって、一番重要なことは何か。でも正論だけでは通らないこともたくさんある。それは人間だから。私は常に患者さんの味方であり、指導者ではない。患者さん自身が進むように導くことも大切。でも、時期を待つことも大切。分かっているけどできないことはたくさんある。一人だと難しいかもしれないけれど、私も一緒に頑張るから」

今はそんな気持ちで日々仕事をしています。ヘルスケアは自分が歯科衛生士として、生きる道を示してくれたように思



います。

最後にまさき歯科のスタッフの皆さん、本当にありがとう。私を支えてくれていてすべての人に感謝を述べたいです。

土屋紘美 (まさき歯科)

☆ I am DH ☆

～なってよかった衛生士～

☆ デキる?

プローピングに限らず、処置中の姿勢は身体を壊さないため、そして患者さんの疲労軽減、チェアタイム短縮のためにとっても大切。

姿勢がいいと、それだけで「できる衛生士」に見えるのは、何だろうか?

今回も、最初は覗き込むような無理な姿勢だったのが、スタッフのアドバイスで姿勢が改善した受講者がたくさんいました!

心なしか自信があるようにも見えた受講者に、スタッフも笑顔でした☆

☆ ソモソモ…

歯周組織の変化を見るための検査であるプローピング。

だからこそ、歯周組織については理解していないといけませんよね。

髪のことを良く知らない美容師さんに髪を切ってもらいたくないし、お肌のことを良く知らないエステシャンのエステは受けたくない。

DH育成コース

講師の目



☆ チョク? キョク?

今年もいました～! 曲がったプローブを持参した受講者!

プローブは先端が細く、曲がりやすいインスツルメント。

普段の洗浄が雑だったりすると、すぐに曲がったり、目盛りが消えてしまいます。

私たちは、1mm、2mmの繊細な仕事をしてるのですから、インスツルメントの取り扱いも繊細にしたいものですよ。

「プロだから分かっている当たり前。」私たちはそう思って美容院に行きまですし、エステに行きます。

…私たち歯科衛生士は?

ちゃんと私たちの仕事場である歯周組織を理解している??

(marico・ひかり歯科)

今回は「写真で感じたこと」です

セミナー☆まにあ



名古屋のDHスタディグループ“KOKO”の特別講演に参加してきました。

講師は薄井由枝さんと田村 恵さん。コーディネーターは石原美樹さん。

学んだテーマは、“フッ素”と“PMTC”予防業務を行ううえで外せないこの二大テーマについて、豊富な知識と経験に基づいた臨床的見解をズバツと教えていただきました。

フッ素は高濃度のものを年に数回塗る“だけ”では何の意味もない。

私たちは知っています。

むし歯も歯周病も、セルフケアなしでは予防できない。

でも、セルフケアに対するエビデンスはない。

これって一体、どういうことか？

誰かがやっとうまく行ったことが、

“フッ素と PMTC, ズバツと解説！”

全世界のエビデンスにはならない。

でも、効果がない、わけではないんです。私たち歯科衛生士に必要なのは、その“意味”を伝えること。

フッ素を継続して使用することが価値あることだと伝えること。

“PMTC”も同じ。

行う意味を明確にするべきです。

日本の歯科衛生士は世界の歯科衛生士と比べて PMTC を多く行っています。

しかし、PMTC はしょせん他人がおこなう処置。

その方ご自身の保健行動をおこさせ

ることに力をいれないと、歯医者さんに行けば磨いてくれるから普段は頑張らない、では、本末転倒。その方にとってどんな意味があって、どんな効果があって、どんな目的で行っているのか？ それが明確になっていますか？ そう田村さんは問いかけてくださいました。

最も必要なのは、患者さんご自身に、お口の中の気づきを持っていただくこと。将来起こり得るリスクについて考えていただき、行動変容につなげることが大切なんですね。

長山和枝（わたなべ歯科医院）

YUKUSAKI

こんにちは、おおい歯科の志摩裕美です。

おおい歯科は大阪府岸和田市にあります。スタッフの大半は岸和田生まれ、岸和田育ちです。

ということで今回は、大阪府岸和田市を紹介します。岸和田といえば、ご存知の方も多いと思いますが、やはり「**だんじり祭り**」ですね。

だんじり祭りは元禄 16 年（1703 年）岸和田藩主、岡部長家泰が伏見稻荷を勧請し、五穀豊穡を祈願しておこなった稻荷

祭りから始まったと伝えられるお祭りです。地区ごとに趣向を凝らした総けやき造り、重さ 4 トンもの豪華なだんじりが町中を駆け回る勇姿は圧巻です。機会があれば一度見に来てください。



岸和田は城下町として栄えたところで、市街地には**岸和田城**があります。岸和田城は、寛永 17 年（1640 年）岡部美濃守宣勝が入城以来明治維新まで 13 代 5 万 3 千石の藩主として続いた歴史ある城です。現在では郷土資料館もかねています。その近くには、だんじりを紹介した**だんじり会館**があります。



また、市街地からは少し離れているのですが、スタッフおすすめスポットとして**牛滝温泉・いよやかの郷**という所があります。日帰り入浴はもちろん、宿泊施設、バーベキュー施設など地元で人気の場所です。

今回、これを書くにあたり、久しぶりにお城の周りを散策しました。子どものころ遊んだ場所をなつかしく思いながら、だんじり祭りで全国区になった岸和田をうれしく思う反面、昔のお祭りのほうが身近に感じられてよかったなあとちょっと寂しく思う気持ちにもなりました（笑）

編集後記

【The HyG Times】第 10 号です。3 月 11 日に起こった【東日本大震災】により我々ヘルスケアの仲間やその家族にも被災され方がいらっしゃると思います。心よりお見舞い申し上げますとともに、私たちのできることをできる範囲で実行し、協力し合い、一日も早い復興を願っています。

また、福島原発の問題や、まだまだ続く余震に心休まる時間が少ない日々ですが『The HyG Times』では新たな連載も始め、今後も皆さんに元気と為になる情報をお届けしたいと思っておりますのでよろしくお願いたします。

（「ハイジなわた歯」隊長：山田美穂）情報提供・質問・問い合わせ：yamie_damie76@yahoo.co.jp

